

WADAIKO 遙 TOKARA

2013年 3月

TOKARA 公演情報

- 6月17～29日：伊那谷和太鼓コース グランドツアー、長野県阿智村
- 6月29日(土)：幸い下伊那和太鼓フェスティバル、長野県飯田市
- 8月1～26日：風越～スコットランド エディンバラフリンジ祭, 会場 C too Mainhouse, Edinburgh

一大プロジェクト！！～千一体の仏陀～

2013年2月、私達は南インド舞踊のグループ「ラガマラ」と一緒にコンサートをする為、アメリカのミネアポリス市へと行きました。2月のミネアポリスはまだ凍えるほど寒く、道端には踏みしめられた雪が厚い氷となって張っているほどです。

ラガマラの皆さんとは、かれこれ9年来の長い付き合いで、一緒にコンサートを行うのも初めてではありません。以前は

「SVA(スヴァ)」というツアーで世界各地を一緒に回ったそうです。というのも、その

時に私はまだTOKARAには居なかったので、正確に言うと過去の話については先輩方から聞いた話となります。



2月のミネアポリスはまだまだ寒い！！

今回のコンサートは、日本の国宝、三十三間堂を題材とした「1001Buddhas～千一体の仏陀～」というものです。それは実際に堂内に入っていった時と同じ気持ちや、その空気を感じて欲しいといった事を、一つのコンセプトとして創り上げて行きました。この企画は、2008年にラガマラの皆さんが来日し、TOKARAと一緒に三十三間堂に行った事がきっかけで生まれたそうです。



皆と一緒に練習！練習！

ラの皆さんに踊りだけを見せて頂きました。その最初が、二十八部衆の内6体と同じ構えをとり、微動だにしないシーンから始まるのですが、私はその世界観に圧倒され、まるで本当に荘厳な三十三間堂の中に入ったかのような空気を感じました。

2008年から数えて5年越しのこの企画、共演する皆さんも大変豪華です。まずは勿論南インド舞踊のラガマラ。ラガマラの皆さんは、本番の3時間前から化粧をしているそうです。私は今回初めてドレスアップした皆さんを見ましたが、それはそれは息を飲むほど美しく、まるで美術館の彫刻が動いているかのようなようでした。続いてはインド打楽器のチェンダ奏者である、通称ウニさんことウニクリッシュナンさん。彼はチェンダが大好きなあまり練習中、出番じゃない所でもつつい演奏してしまう、とても楽しい方です。がしかし、ひとたび本番となると、ビシッ！と決めてくれるカッコいい方でもあります。そして同じくインド打楽器であるムリダンガム奏者のラジナさん。彼女はとても正確なビートを刻み、その上複雑なリズムも難なくこなし、更にまるで早送りしてるかの如き早打ちと、とにかく物凄い方です。そんな方がなんと私と同年代！！...わ、私も頑張らねば！！さてさてお次は、バイオリン奏者のアンジナさん。これは後から聞いた話なのですが、今回のコンサートで、演奏中にバイオリンの弦が切れるというハプニングがあったそうです。が、彼女はその切れた弦を瞬時に張り直して、演奏に戻るといふ人並み外れた業を見せてくれました。一緒の舞台にいた私ですら、そのハプニングが起こった事には気づきませんでした。

三十三間堂内の千手観音像の前には、二十八部衆と呼ばれる守護像が置かれていて、それらは全てインドのヒンドゥー教の神々に由来しているそうです。その日本とインドの繋がりにとても興奮したTOKARAとラガマラさんが「日本の和太鼓とインドの舞踊でこれを題材としたコンサートをしよう！」と、思い立って今回のコンサートが実現した、との事です。今回私達がミネアポリスに来て最初に、ラガマ



モールオブアメリカへようこそ！



ラガマラリーダー、ラニーさんの誕生日！

さあさあ出演者が豪華ならPRにもご注目。ラガマラの皆さんは手を抜くという事を知りません。チラシやポスターは勿論の事、私達はファンの方々と一緒に、ディナーを食べて語り合う「ハッピーアワー」や「ギャラ」と呼ばれるイベントを開きました。そこではファンの方々と直接語り合い、今回のコンサートは勿論、私達の事についても話をしました。そしてまた別の日には、地元で最も購読数の多い、新聞の記者の方を練習に呼び、公演の記事を掲載させて頂きました。

出演者が揃い、PRにも力を入れ、後は練習に練習を重ね、開演の時を待つのみです。



ホールでリハーサル、大きな会場です。

その次はサンスクリット語で歌を歌うラリッドさん。彼は低く強い歌声でインドの歌と、日本の読経にも似たヒンドゥー教のお経も、歌い上げました。彼の歌によって更に深く、三十三間堂の重厚な雰囲気を感じられる気がします。そして私達TOKARA。私達は今回沢山の新しいリズムに挑戦し、それぞれのパート全てで違う世界観に感じられるよう仕上げました。



私達の記事が掲載されました。

今回の公演の会場はコールズシアターフォーパフォーミングアーツという大きなコンサートホールです。そこでは3日間連日で公演させて頂きました。そして日を挟み、グスタブスアドルフスという大学でも、公演をさせて頂きました。そのすべての会場で、演奏が終わると同時に豪雨の様な拍手と、スタンディングオベーションを頂きました。

幕が下がると私達は、皆で今回の公演の成功の喜びを分かち合いました。その後お客様の見送りの為、ロビーへと行くと、興奮冷めやらぬ様子のお客様から、更に様々な賞賛と激励の言葉を頂きました。演奏を終えて、この公演に関わった全ての方々への感謝と喜びの気持ちを胸に抱きつつ、一大プロジェクトである1001Buddhas~千一体の仏陀~は無事成功を納める事ができました。大変貴重な経験をありがとうございました。



さよならミネアポリス！

ラガマラの皆さんとの大きな仕事を終え、私達は一息つく事もなく、ドラマーズアーツシアターという会場でコンサート「風越」を行いました。その会場は50人で満席という、出演者とお客様の距離がとても近くに感じられる温かな会場です。一年前にもこの会場でコンサートを行わせて頂き、光栄な事に、その時にお越し頂いたお客様が今回も見に来て下さっていました。公演が終わった後、多くの方が話しかけてきて下さり、とても嬉しく思いました。その翌日も休む事なく、同じ会場でワークショップを行いました。前日のコンサートを見に来て下さった方もいれば「仕事で見に行けなかったんだよー」という方もいて、皆で朗らかな雰囲気のもと、ワークショップは進みました。朗らかな雰囲気とは裏腹に、内容はハードで皆汗だくになりつつも、笑顔で楽しく【飛跳太鼓】を叩きました。このワークショップでミネアポリスでの仕事は全て終わりです。



まだまだ旅は終わらない！！

共演した皆さんとミネアポリスに別れを告げ、一同はまた車に乗って、やはり一息もつかずに次の目的地へと向かいます。次の目的地はミネソタ州のマーシャル市です。が、ここで3月が終わる為、続きはまた次のニュースレターでお伝えします。長かったアメリカツアーもあと一ヶ月。最後まで走りぬぎ、これからも駆け抜けて参りますので、どうぞ次のニュースレターもお楽しみに。小野澤 貴史 著

和太鼓TOKARA

2013年アート・リー芸歴20周年と2014年TOKARA結成10周年を記念し、2年間にわたり世界12か国を横断する世界ツアー"風越"。

私たち 和太鼓TOKARA の拠点、長野県飯田市に、風越山(ふうえつざん)という山があります。風が越えてくる山。風越(かざこし)。早朝、風に運ばれた霧が谷へ流れ込む情景は、山が羽衣を纏ったかの様に、厳かで美しいものです。

山脈の連なる長野県伊那谷の南に位置する飯田の地で、皆様に支えられ、新しいステージを作り上げ、練習を積み、また次の公演へと旅立つ。海外での公演ツアーが増えるこの数年、私たち TOKARA のエネルギーの原点がここにあります。

風雨に耐え、堂々と美しく聳え立つこの山の様に、それぞれの節目の年を越え、これからも力強く太鼓人生を歩んでいきます。

和太鼓 TOKARA の色として、私たちがこれまで作り上げてきた力強く流れる様な身体表現と、様々なリズムを融合したジャズの様でもある音楽の世界を、ぜひ体感して頂ければと思います。

「風越(かざこし)」2013-2014 世界ツアー
詳細は www.tokara.net/kazakoshi をご覧ください。

WADAIKO TOKARA

和太鼓TOKARAのステージは、伝統的な和太鼓に、中国武術、舞踊の流れるような曲線的動作を取り入れた独自の振り付けと、その驚異的なスピードとパワーが融合し、観る者を虜にする。常に新しい楽曲演奏スタイルを探求し、全く新しいTOKARA流パフォーマンスを創り上げる。世界の様々なリズムを取り入れ、複雑に重なりあったリズムが創り出す斬新な音楽は、ジャズの様でもあり、聴く者を魅了する音楽性の高さが注目されている。

リーダー兼 芸術監督であるアート・リーは、現在の太鼓界をリードするトップ奏者の一人として活躍。2001年、ソロ奏者として、世界で初めて日本政府より芸術ビザを取得。以来、現在に至るまで唯一の外国籍和太鼓アーティストとして日本はもとより、世界に活動の場を広げる。又2005年には、最も権威ある『東京国際和太鼓コンテスト・大太鼓部門』において、外国人初、唯一となる最優秀賞を受賞。

世界ツアー 第一弾

2013年1月-8月

バンクーバー・カナダ / ケローナ・カナダ / ミネアポリス・アメリカ /
ビーサム・イングランド / ペンザンス・イングランド / ダブリン・アイルランド /
エクセター・イングランド / エディンバラ・スコットランド

詳細は: www.tokara.net/kazakoshi



WWW.TOKARA.NET

WADAIKO 遙 TOKARA



初CD

「Toward the Undiscovered Country~未知の世界へ~」。

収録曲数 8曲 収録時間 58分

リンクと試聴

<http://www.tokara.net/info/ttuccd-jp.html>

以下にリンクして頂けますと、2012年世界ツアーの様子などがムービーや写真でご覧頂けます。

Performance Schedule

[Tokara on YouTube](#)

[Tokara on Facebook](#)

[Tokara on Twitter](#)

皆様のご声援

本当にありがとうございます。

TOKARAメンバー一同、ますます精進して参ります。今後ともどうぞよろしく

お願い申し上げます。

和太鼓 アーティスト アート・リー

和太鼓TOKARA

今後のワークショップ

伊那谷和太鼓コース

グランドツアー

初心者中級者向けコース

2013年6月 17 - 22 日, 24 - 29 日

初心者の方を対象に1週間の太鼓酔けのレクチャーを通して理解を深め、技術の向上を目的としています。コースでは、日本各地に伝わる和太鼓のスタイルや、リズムを学びます。また世界の太鼓のリズムや技術にも触れる機会があります。レクチャー、練習は、毎日朝10時より午後4時まで阿智村の公民館ホールにて行います。参加者は、期間中、他の太鼓施設やグループを訪れ、特別講師からレクチャーを受ける機会もあります。コース最終日に行われる「幸い下伊那和太鼓フェスティバル」のなかで、練習の成果を発表する機会があります。

詳細、申込用紙などはコースウェブサイトをご覧ください（英語のみ）：

[www.tokara.net/
japantaikocourse.html](http://www.tokara.net/japantaikocourse.html)

お問い合わせ

和太鼓TOKARA

395-0826長野県飯田市松尾水城3598 B-202

TEL/FAX: 0265-59-8768

Email: info@tokara.net

もしくは

wadaiko.tokara.japan@gmail.com

Website: www.tokara.net

これまでのニュースレターをご希望の方は

[Tokara Newsletter subscription site](#)